



映画『「また必ず会おう」と誰もが言っ
た』2015.12.15 上映

兵庫県立農業高等学校
感想より



・自分で行動することで何かしらの物語りが生まれます。～私はこれからは人に指示されてから行動せず、自分からいろいろ行動してみたいと思いました。(高1女子)

・人間どんな事態にあっても大抵のことは何とかなるもんだなと思いました。自分自身で人の役に立つことを見つけて、それを他人に言われる前に行動することは社会人としては当たり前なことだけど、必要な事だと思いました。(高1男子)

・何となく、一番仲のいい友達にも弱い所を見せたくなって、嘘をつくことがたまにあるけど、そういうことはやめようと思った。～人との出会いを大切にしたいって改めて思ったし、今と違う今があったら・・・ってすごく考えるようになった(高1女子)

・「人のせいにするより、自分のせいにした方が気分がいい」という言葉、いまだに悔んだりしている事を思い出すとたいてい人のせいになっていることがわかった。今後は自分が悔いの残らない選択をしようと思った。(高1男子)

・自分のやりたいことをやったら、そのぶん自分へのリスクが高まるし責任が重いです。自分には勇気がなくなかなかできない。～自由なこととして将来に響いてしまっただけで安定しないことを恐れてしまいます。(高1女子)

・愛想、笑顔、礼儀、感謝の気持ち、素直な心があれば人間どこにいても生きていけるのではないかと思います。素敵な映画ありがとうございます。(高1女子)

・「みんなと合わせる事が最重要、でも存在感がなくなるのが嫌なので嘘をつく」これ聞いた時、自分も同じことを考えたことがあるなと思いました。「自分で決めるから自由」自分から進んで何かをやろうとする気持ちや、自分から新しいことをやろうという気持ちになりました。(高2男子)

・人の温かさ「困ったときは周りに頼りなさい」といわれているように感じました。(高1男子)

・出会ったそれぞれの人が色々な問題を抱えていてその中で「また必ず会おう」と言うのは縁があると思うし、すごく心に響いた。(高2男子)

・人との関わりは人生を豊かにするのに大切なことだとわかりました。出会いがあれば別れというものも必ずついてくるとこともわかりました。(高2男子)

・私もこれから人に「また会いたい」「ありがとう」と感謝されるような人になりたいと強く思いました。(高2女子)

・ぼくも人との出会いを大切にし、今いる友達や家族・先輩との関わり方も見直すべきだなと思いました。考え直すことで今の世界とはまた別の世界が見えてくるのではないかと思います。(高1男子)

・周りに合わせる事がしんどいという想い、でも自分の思うままに行動できない気持ち、とてもよくわかります。人と関わりたくないと思っている自分でしたが、この映画を見て人と関わるのも悪くないかなと思いました。学校という狭い世界にとらわれず、もっと大きな世界を見ようと思いました。学校でも自分からコミュニケーションをとってみようと思いました。(高1女子)

今日の映画鑑賞「また、必ずお会いし、誰か言え」を見てたくて人の
ことを学びました。

杉和也が東京から福岡にかえるまで出てきた人全員がとても良いことを
言っていた。最初の他人という人なことを言わなかったが、
旅をつづけていくなかでしたい気持ちや気持ちがいよいよい
つにでも興味が持てました。

第一印象に残っている台詞がいくつかあります。

おれは目^め みんなと合わせる以外最終でも存在感がなくなるの外
嫌なことで嘘をつくという台詞です。これを聞いた時の自分もおなじような
ことをみんなと合わせるなとも思いました。

また、船子コラの暎樹が言っていた「自分で決めるから自由」です。

あれをしよう。これをしようと言わなくても、自分から他人でなければ
と結果的に自分からなると新しいことをやると言った感じになりました。

今日の映画を見て、いびきやまず、右巻や先生という人なことを相談
してみようと思いましたが、自分で決めるから自由、ということも
決めました。

今日「またかな」学校上映の口づけの申込みをしてくれた先生に
感謝したいです。

ます。つ目は会う人会う人がとてもいい下町に住んでいるところです。从
川が主人公の人生の先輩にな。主人公は以前の大人に育ちようとしている
ところがまず心に残りました。次に印象に残したのは人の温かいです。
会う人全員とても温かくて、きびしいけれど困っている人は助けて
くれる。このような場面を見て、「困った人は周りに頼りがいい」と
言われているように感じました。そしてつ目は、会う人全員が最後にはた
めず余おう、生きていた、なせ、このように題名がついているの
かな、と思、ていた、ので、なるほど、な、思、い、ま、し、た、。この映画が青少年に
見せたい映画No.1ということがわかりました。この映画から学
べることは数えきれないほどあります。青少年に限らず、この映画
を見、て、い、ない、人、は、せ、ひ、見、て、ほ、い、い、思、い、ま、し、。僕もまた機会
があればもう一度見たいと思いました。本当に心に残る映画
でした。

人の成長を大きく感じることを見出し、学びのことです。

偶然 本会、人に。いろいろなことを学び、

学んだこと、いかにも、人に伝えたりして、

主人公が、成長していきながら、感じることが

できると。

空港で、偶然 出会、人に。その人が「リ」

その人の、旦那さんと息子さん、トランクの運転手の人、

いろいろな人が「でき」て、映画の題名通り

「主役は必ずしも」と、誰かが言、てました。題名に「でき」

「か」は、その意味が分からず、て、内容を知らず、

考えると、深い、と、思います。

最後に 出会、人に。自分が、学んだこと、全部が

と、感じ、て、感じ、て。

す、く、深い映画に、て、思、い、て。

見る、こと、が、良、い、と、思、い、て。

〜の出来事を見ても何事かとはたくさんあった。

嘘をつきつづけると誰からも信用してもらえないということ。

● 自分の主人は自分だから、人に守ってもらうのでは
なくて自分は自分で守らなければならないと思った。

● 自分で働いた お金は人にもらった時のお金より、あり
がたみが分かる。だからこそ自分のことは自分で
守らなければならないと思った。

すこい話が展開して、おもしろが来
です。みんなが「また、必ず会おう」と
言たのが、やはり一番印象的
でした。出会ったそれぞれの人が
色々な問題をかかっているその中
で「また必ず会おう」と言うのは
縁があると思うし、すこく心に
近い。今後は僕も人と別れる
ときは「また必ず会おう」と言いた
いです。

人生を豊かにするために大切なことだと分かり
ました。出会いがあれば別れというものか
必ずついてくるということも分かりました。

一つというふうな映画の最後が少しさみしくなると
思った。主人公と家~~族~~がどうなったか
知りたかったのと主人公が無事に家に帰れた
かどうかを知りたかったけどラストは自分で
考えろということなのかなと思いました
映画の中の主人公に出会った人達は全員「また、
必ず会おう」と言っていたからエンディングで
また会ったとかかいてなかったのて
やっぱり社交辞令で言ったのかなと思いました
社交辞令だから誰でもいえると思うので
社交辞令で終わらしてほしくなかった

人の関わり方のこと

大切さ、他人にやさしくすると必ず自分にかえって

きて、反対に他人に対して冷たい態度をとると、

相手からも冷たい態度を返ってきて

結局は自分に全てかえってくることを

改めて知りました。

それにもう一つ思ったことは

次また本で読んでみたり、

家族で見たいと思います。

人 「その瞬間に、人の心はほろろと溶ける」
と感動しました。

出会った人と写真を撮るシーンはなにか出会い
の相対性をおぼえてくれたのだと感じました。

● 僕はまだ16歳なので、今後出会いはたくさん
あると思うので、一秒一秒を大切に
せず人生をたのしんでいきたいです。
そして、今を楽しむことを忘れない
生き方を目指しています。

● 今後、このような出会をたのしみた
いていきたいと思います。

— 2012年 4月 10日 —

たおけとく本きました。二本見と。

ほくも人との出会りを大切にしよと

思ひました。学んだこと多いです。

自由について # おれで何かをすればと

いふ、たくさんのことを敬愛しました。

うをフコエリたの。どうなにかと

知りました。

次は本で読んでみようかと思ひました。

「まに、必^く会おう」と誰かが言ったという映画

を観させていた感じで、素直にして良かった映画だと思いました。

自分がついたうりを本当にあるために東京に行くために、

会う人会う人に、「まに、会おう」と言われて、はにかみながら

思いました。~~私も~~ ~~会おう~~の人に「まに、会いにい」とか「ありがとう」

とか、誰かに感謝されるようにしていいと強く思いました。

この「まに、必^く会おう」と誰かが言ったという映画を観る事

ができて本当に良かったと思ってる

ありがとうです。

母がお母かられていくとしてもおもしろかったです。この映画を見て
ぼくも、人との出会いを大切に、今いる、友達や家族、先輩と
の関わり方も見直す「きだ」なと思いました。この映画を見て、
考え直すことで、今の世界とは、また別の世界が見えてくるのでは
ないかと思いました。ぜひ、いろいろな人に見てほしいと思います。

~~自分自身で他人の人生を救うことは、人間として当然のことだ。~~

自分自身で他人の人生を救うことは、人間として当然のことだ。
他人の人生を救うことは、人間として当然のことだ。
他人の人生を救うことは、人間として当然のことだ。
人を助けると自分に手返ってくるし、その助けられた人も幸せな気持ちになれると思います。

映画も見た。この頃、将軍に上りた大田は
言葉は面白くないと 本 を 思 い ま す。

● 「人に言われる前に行動する」、この言葉が最も
印象に残った言葉です。小、中学生の
頃から何度も言われていました。当時はその言葉
の意味も全然理解できていなかったと
思います。しかし今なら分かる気がします。
相手の考えや心からことを請うて草木を行動に起
こすこと。これが僕の中の大田だと思いました。

機に乗れなくてそこから旅をしていきその旅が自分を成長させることにつながったので、高校生のときに自分を成長できるなんて良い事だなと思いました。自分も自分を成長させるために、一人旅をして、いろんな人に出会うことをしてみようかなと思いました。

同年代の心情に共感できました。主人公の心の思いは
とてもよく分かります。グループの中にいなくてはいけない、1人でい
ると弱者のように思われるという思い。周りに合わせるこ
がしんどいという思い。でも自分の思うままに行動できない
持ち。とてもよく分かります。人と関わりたくないと思、ている自分で
したが、この映画を見て人と関わるのも思くないかなと思いま
した。学校という狭い世界にとられず、もっと大きな世界を見よう
と思いました。学校でも、自分からコミュニケーションを、てみようと思
いました。

偶然にいろいろな人と会って、生き方とか何を大事にしていくかを
自分で決めるところが良かった。大人になっても思い出せるような
感じでした。

私は、今回^Fまた、必ず会おう、と誰もが言ったのを見て、必ずまた
どこかで会うことができる、と言うことで、別れの時のこみこみがなくな
るのではないかしらと思いました。そしてまたどこかで会えることを
思えるようになっていけたらいいと思いました。人生はたった一度き
りだからその時に出会った人たちとの出会いも大切にしていってほ
しい、と言うことだったのかなと思いました。

この話のテーマは嘘をつくことで、人々に会って話を聞いていく中で成長していく主人公の様子を描いてもらった感じがしました。はじめの主人公はみんなの影に隠れながら自分を出せず周りの人に合わせておろそかに扱われていた。みんな嫌われて会って話すと嘘ばかりで話さなかった。旅の中で自分が最初に行きかかっていたところまで戻りました。又す会おうというのは人の温かい触れた後の別れの時、自分自身を認めることなのかなと思います。

分にも、くりだったことです。「周リには、かみ死にあわせて、意味もなく嘆息ばかりです。でも曜Eついていけば、ちと楽しくてい」、というところまでそ共終てきました。

ごまかして東京に行。て、金持ちで、飛行機乗りなぐれ、からの話の展開が、とてもおもしろが、たてす、感動とかいなくて、とてもヒビてきました。

自分を自立させたいという気持ちで「はつきり」はつきりたくないです。
でも、この旅をついた少年は、真実にするために一人で旅を
していて、なかなかに勇気があるし、自分のしたことへ責任感をも
つていました。でもその少年に、足りない部分を旅で出会
った人たちにうめってもらったり、出会った人々からメッセ
ージをもらったりして、少年が変わっていくのを観て感動
しました。初めは、「自立したガリヤの少年」というイメージ
でしたが、後々思ったのは「素直な少年」だということです。
だから、この少年は旅にでて良かったんじゃないかと
思いました。

これを見て、「お金の大切さ」と「自分を持つこと」と「普段の
生活のありがたさ」がわかりました！

正直、続きがどうなったのが気になりましたが
観て良かったです。

しかし、それは映画、観たことがないし、本も読んでいないこと
ない、と言えはいいのになと思います。でも、嘘をつくことはタ
Xだと思ふけど、その嘘によて主人公が成長していくのは、す
ごくいいことだかなと思います。最初に出会った人が言った
「君はゼロ点」と言う言葉は本当に当てはまっているんじゃないか
と私は感じました。人に何かや、てもらおうとか、心が無い
言葉を言ったりとか、私自身では気付いていないだけで、知ら
ないうちにしているんじゃないかなと思います。その最初に出会
った人から、人から人へと繋がっていくのが、すごく良書だ
と思います。全然、自分の知らない人に助けられてその人
のために旅をして、自分のためにも人のためにもなる事をしてい
て、必ず最後の別れの言葉には「また必ず会いましょう」と言っていて
すごく良い言葉だかなと思います。

映画を見るだけでは分からないところもあると思うので、ま
た機会があれば、原作も読んでみたいと思います。

今回、この映画をみて、感じたことは多くありました。まず、1ヶ月は「ウソをついてはいけません」ということですね。ウソをついているときは、その時はいいかもしれないけど、あとあと用事が自分だし、信頼を失うと思いました。

この月、色々な人と出会い、ふたあうことで人によって考えがたは違うけど、自分もがきょうつうしていきるのは、どれれ和也さんにとっ、これからの人生にプラスになることばかりだ”とあります。

飛行機に乗りおくれたこと、和也は今までの自分から、勇気を1歩ふみだすこと、和也はき、このウソをつかなくなったら、自分の居場所、自分から行動したり自信を持つことができた”そうと思いました。

た”から、私も何か自分から動きだせるようにしたい”と思いました。

その中で出てくる「おれは、いつか（いつか）」と

うそを言っているその場はよくてもその後にどうなるの
かよく分かりました。自分や他人もうそは誰にでも
できることだから、たいてい事じゃない時にうそ
を使わない方がよいです。

「また必ず逢おう」と言うのはたぶんその場面
ではとても大切な言葉だったと思う。本当に
また会うことはできないとしても思いは残る
と思います。でもまたはあまりこないと思う。た
からこれも運命的に待っていたいし、おぼえてお
こうと私なら思ったりすると思う。

いろんな人と出会って旅して行くのもいいなと
思った。知らない人と話をすると自分の持ってい
ないことや物がもらえると思いいました。

今回、この映画を見直して考え直させることが

たくさんありました。

どうしても嘘をつかないとダメな時は、たまには

あざといと思うけど、あざとい嘘ばかりついたら、

友達も減り、頼られる事もなくなり、自分には

悪いとは気づいて、良い事は何一つ返さないので

ので、私は嘘をつきすぎたのか、適当な話を

作っていたのかなどと考えることができました。

また、人の優しいや暖かいを改めて感じることが

できました。私も柳下さんの様な人になりたい

と思いました。

和也は友達に嘘をついたりして話を合わせ

て、気をつかっていたけど、気をつかわないとい

いけないのは、本当の友達ではないと

思いました。

あと、おはさん達がグループで1人の人をけじめ

のは本当におとぼけなしい耻しい大人だね

と思いました。

質問で知らぬことを聞かされた時を答える 本人のことをしては、その話
から、この人間になつていく感じがなつたかと思ひました。

映画では的の壺から 東京に行くことになつて、それからこの人に出会い
この人を経験をして 成長していく話なのかなと思ひました。

一番印象に残つたところは、主人公が、トラフの運転車の人に 魚市場みたい
なところにつれていかれて、そこで仕事をし、お金をもらつて、運転車に大切にお金
と言つたところだ。トラフの運転車の方は、主人公に伝えたいことがあつ
たんだと思ひます。

あとウロをばかるところが多くて、リアルに感じて、嫌なりました。

トラフの人と主人公とのやりとりで、晩ご飯を食べるときの会話や、トラフ
の中でのやりとりで、おもしろいところが何個かあつた良かたです。

初めに会つた女の人に、家に泊まらせてもらうときの礼儀のよつたおのま教
えてもらつて、私も人様の家に泊まらせてもらうときは最低限のことはしようと思
ひました。あと良かたのところ、いろいろな子供に、最後 お母さんに「お母さん」
と叫ぶところ、良かたです。

この映画を見て思ったことは、主人公が
高校生で初め思ったことは、かおやは
虚つきで、お金の使い方が分かってない
と思った。でも、おばさんの家にとりかえられて
から、自分で考えて行動している姿を見て、
ほくも自分から考えて行動しているのができて
いた。かおやが、テストラのおじさんが会って
から、かおやは本当にいい人になっていった。
人とのつながりはおじいと思った。
テストラのおじさんが倒れたときも、
今までのかおやを承ら、やってきたことも、
成長したかおやは、テストラのおじさん、
病院まで行って、がんばるもに、おじい
人間力が増えたと感じた。子供を産み育て
たこと、最後自分のお金を預けたこと、
とても成長していると思った。自分もかおやさん
いい人になりたいと思った。

「また、必ず会おう」と言った言葉が印象に残りました。主人公は、いろいろな人と会っていくたびに、成長していきました。はじめは、友達にうそをついてしまったのがきっかけだった。一人で旅を出て良かったと思いましたが。主人公は、旅に出ているから、この先ずっと、うそをついたりして、自分を苦しめていくと思います。いろいろな人に会っていくうちに、見ている側も理解できる所があり、少し成長できたと思います。みんなが一生懸命に生きる姿を見て、すごいなと思いました。

言語の最後から先が気に入ります。原作をぜひ見てみようと思いました。

多すぎるなと思いました。さすがに気分悪かったです。佐野 肇(さの げい)
は、かっよかったかもしれないです。一番はじめに会ったおばさんは、キツ
いなと思いました。私は多分苦手です。でも、別れるときには、い
いこと言っていたし、家に泊めたところとか、いい人だなと思いました。
2番目にあった、自転車をくれたおじさんは、すごくいい人でした。i phone
を買っているところとか、感動しました。その次に会った、デコトラのおじさん。
あのおじさんは、すごくいい人でした。うそをつくなみたいなこととか、バ
レさせられたり、本当にいい人でした。その次に出会った、男の子。
ちょっと、主人公も似た感じだと思いました。うそつくところとか、似
てました。お母さんとの再会は感動しました。お母さんが就職している
とうそついていたり、じい配かけたくないんやなと思いました。

この映画は、「うそをつくな」と言いたいのかなと思いました。うそ
をつかないといけない時とかもあるけど、一度うそをつくと、めんどくさ
いし、楽しいはない気がします。うそは付きません。ため、絶対。

先生が、高校生に見てほしい作品1位みたいなのを
言っていたので、どんな内容なのかすごく気になっていま
した。見てみると、すごいおもしろかったです。次はどう
なるんだろうとか、主人公がつかう嘘は最後までには
直るのたろうかなど色々考えながら見ました。

楽しかったらうけど、私は絶対一人旅は無理だ
なと思いました。寂しいし、不安になるし、怖いので、
たえられないなと見ていて思いました。トラックのおじい
ちゃんみたいなのがいたらいいけど、知らない人に頼るのも
怖い話だななと思った。題名の言葉が、和也におて
なまるのがなんかすごいと思った。たまに変なツン
とかもあって笑いました。ナレーションがおもしろか
たです。最後の写真が流れるところが特に。
げろを吐くところまで言わなかった。和也の作った
写真の出会いのところがすごく良かった。

和は、はじめに主役の笑みについて話して、そのあと、C兄さん。

はじめは普通に見ていました。が、話が進んでいくうちに

徐々に息がな、て映画を見るのが楽しくなりました。

主人公が友達にクモをついたのとき、かいてー東京に行くこと

な、てそこからいろんな県に行く、ていろんな人と出会って、

助けてもら、たり人助けをしたが、よくわかりました。

クモをついたのは悪いと思うけど、クモをついたおかげで主人公の

人と出会えてよかったなと思いました。

和は一番印象に残、ている場面は、トラムの運転手の人がおも

い場所を見、つけてくれた所と、トラムの運転手のおじさんが倒れ

た時に病院に連れて、たり、小さい男の子がお母さんの所に

会いに行くのに一緒に連れてあげたりして、主人公の

男の人ほんと優しい人だなと思いました。和はこの映画を

見て人との出会いを大切にしたいな、と思いました。

あと、映画の終わりが途中で終わ、っていたので、脚本とかが読

む時があれは続きを見てみたいな、と思いました。

私は、この映画を見て、一番に思ったことは、
嘘をついてはいけないと思いました。東京に
行、たこともないのに、行、たと言、つて嘘をつくと
親にも大学の見学に行くと嘘をついて、母とち
た、い、が、た、め、に、つ、い、た、嘘、が、み、ん、な、に、嘘、を、つ、き
続、け、な、け、れ、ば、な、ら、な、い、か、ら、で、す。東京に行、つて
旅をしな、が、ら、た、く、さ、ん、の、人、に、出、会、て、い、て、泊、め、て
く、れ、た、り、す、る、優、い、い、人、も、い、る、ん、だ、と、思、い、ま、し、た。ト、ラ、ウ、ク、
の、人、は、一、泊、で、お、金、を、と、り、て、い、た、り、ど、最、後、は、お、金、を
返、し、て、く、れ、た、り、本、当、に、い、い、人、は、か、り、た、と、思、い、ま、し、た。
帰、り、が、遅、く、な、る、と、主、人、公、が、親、に、伝、え、た、時、お、父、
さ、ん、が、信、じ、る、と、言、つ、て、い、て、あ、づ、い、け、な、い、と、思、い、ま、し、た。
こ、ど、も、を、お、母、様、の、と、ろ、ろ、に、連、れ、て、行、つ、て、小、ど、も、が、お、母、
さ、ん、に、お、金、を、渡、した、所、は、感、動、し、ま、し、た。そ、し、て、帰、つ、て
お、金、を、主、人、公、が、小、ど、も、に、渡、し、て、い、て、自、分、は
ヒ、ッ、キ、ハ、イ、ク、を、し、て、帰、る、と、い、う、の、は、あ、づ、い、け、な、い、
と、思、い、ま、し、た。

私はうそをつくのはいいな、事だと思いま
うそをついてる人は、その時は楽しいかもしれな
いけど、いつかというときに、信じてもらえなくな
るので、うそはつかない方がいい、私は思いま
す。私も、私をうそをつく人は、信用できません。普通に
うそを言うより、本当の自分で接した方が楽しい
と思います。和也が東京に行きサウナを取られ、飛行
機におくられて困っている時は、みんなの人たちは
言葉だけでたれもうごころとしないのは、私はどの
か、と思いましたが、もし私なら困っている人がいる
なら、助けてあげたい、と思います。和也は家に帰る
前に、いろいろな人に会い、助けてもらっていました。その
会った人が最後、また必ず会おう。という言葉に私は感動
しました。その言葉は、せつた、この事を忘れないと思えよ。
最後の別れみたく、別れが悲しくない。ので、私はこの言葉が
いいな、と思いましたが、和也も今回の事がある、前のうそ
をついただけの自分から、かわれたので良かったな、と
思いました。

一度、に信頼をなくす事にすると
思っています

この事を気づかせてくれました。

主人公は今の世いで大変な目にあっ
ている。

でも今の「おかげ」で僕ら数人と出会って
何が気づけたんじゃないかなと思っ
ています。

最初の女の人も、いろいろしたけど正しい事を
言っているし、木野田さんも「かぎや」と言
をして「かぎや」が自分の思っている事を
話さず、居場所をきかす。その「おかげ」で「かぎや」は本家の

自分もうまくと「かぎや」が「かぎや」を

よくと「かぎや」が出てきておもしろい感じが

あります。これからは「かぎや」を使うと思っ

ておもしろいように「かぎや」を使っ

嘘からはじまって、東京に行ってしまったけど、たかさんのことができた
のは、ふいふいと思えました。

デパートに車をもらっていただけ、その運転手さんが倒れてしまって
動けなくなりました。時は、どうなってしまうのかなと思っただけ。
病院に到着することができたよかったです。

そこから一緒に行くことはできなかったけど、男の子とその子の
母親に会いに行き、会った時に自分のお金を渡して、走って行って
しまった時に、良かったと思うました。

それとも母親にあいつらしてくることをあめりかではあいつらと
思いました。

私だったら絶対に、男の子に何も言わせないことができたに、
男の子を帰らせてしまいたかったです。

最後の終わり方が、あく中途半端な感じだったので、
ぜひ原作を読んでみてほしいなと思えました。

ぜひ映画を最後まで見たいなとも思いました。

大切なことを教えてくれたんだ'と思います。

見ていて思ったのは、見て'知らず'の人に声をかけて、トラックに乗せてあげたり、家に泊めてあげたりが'優しいが'、お'い'な'ー'と思いました。

主人公の男の子が'旅'をしていく中で、少しずつ'成長'しているなと'感'じました。

私たちにも、人として大切なことや、常識'を'教えてくれた映画でした。

他人の事を'そんな'に'気'に'して'下さるのは、お'い'く'喜'しい'と思うので、自分も'そんな'人'になりたい'と'感'じました。

続きが'お'い'く'気'になりました。

うそはいつかはバレると思いました。

映画は裏から見て、先生が言った「高生に見せたい映画に選ばれる理由か」
分かる気がしました。

なせなら、いろいろな大人と出会う、自分かなさけないと思うみたいな話を
してトラウマの運転手柳下さんの男らしさかすばらしいことかものすごく身にし
みしました。

「また、必ず会おう」は主人公の和也に対して、すごく意味の深いものだと
思います。柳下さんとの出会い、人に対する優しさも教えてもらったり、家族の大
切さを和也は充分に知ったと思います。

最初には赤の他人に聞かれるのを嫌がってた和也が、昌子のおはせ人や
その夫や柳下さんにいろいろと出会う、人に接することや嘘をついたこと
を正直に話すと、和也の父さんに「信じるな」と言われて和也は、とてもいい人
になっただけだと僕は思います。

とてもいい映画で、原作も読みたいなと思いました。

私云いかでせぬくて、色々できなくて何度も

注意されたけど、おばさんが飲みについている間に

しっかりと家の中をそうひしたりして成長していると

思いました。次の日の朝もボールのまをかたすけたり

家を出ていくまえにしっかりと、おれしなとかかできて

いて良かったと思いました。次にトラックの運転車の

柳下さんに出会い、トラックに乗せてもらったりして

いい人だと思いました。柳下さんが痛気で倒れてはじめて大変な法

時、しっかりと最後まで柳下さんにつくろうとしていた所か、いいと思

ました。最後、子どもをお母さんの所につれていってあげた時

また、必ず会おう、といったセリフがとても良い感じてした。

けっして会うことがもうできないのに、それを言うことで何か心に

残る感じがしました。その言葉には「もう一度絶対会いたいの」というのが強く

こめられていると思えました。

最初は舌舌に見せた。映画ラング1位とこの意味がよくわかりませんでした。その理由がよくわかりました。和也がいろいろな人と出会い成長していくようすが見ていておもしろがたです。でも結局なにを伝えようとしているのかはよくわかりませんでした。

見ていて一番好きになったのは柳下さんです。柳下さんは行動や発言はめちゃくちゃですが、すごく優しく、「自由」についてのはなしはとてその通りだと思います。小学校の時のこと、柳下さんと先生と雰囲気や発言が少し似ていたので話してみたくなりました。

この映画を見て思ったことは、人との出会いは大切にしなければならぬということ、自分からなにが行動をしないとなにも変わらないということ、特に自分から行動をすることこそ強く感じました。僕も他かに頼るだけでは駄目、自分から行動していかないといいななと思います。

で、どんな映画かなと思っただんですけど、私が想像してたのとは全然ちがう内容でした。

女の人のナレーションのようなものは、見ればわかるので、いらないかなと思います。

デコトラの正式な名前には知らなかった。ので、覚えられました。最近、デコトラは見ないので、映画でじっくり見れました。

柳下さんは、優しいなと思っいました。私だったら、トラックの後方に何時間しかみついても、車にのすことはしないので、心が広いなと思っいました。

映画に出てきた人みんなが、「また会おう」とか「また必ず会おう」って言っていました。私は、人との出会いを大事にしようと思っいました。

映画を撮る。あの吐き出しがすごいのが印象的でした。

あの字幕があたり、解説はしなかったのよ。耳が聞こえない人や目が見えない人からしたら可とも伝わりやすい

映画たんじやないかと思いましたが。

和也に届いたお母の人には、自分一人で生きてると

思。213のにはお母が、213という事を学べたし

1人1人、人に届いたが、学べることがちがうと、

特に印象の柳下さんは痛風なのに、旅を続け

ようとしていたのよ本当に自由が好きなお母さんだ

と思いました。

和也が東京に転校したとき、夕になる事が学べ

和也の心境も下すことがあったと思いがち

夕刻の人とかがあることよ、自分自身も学ぶことも

ちがうのよ、お母から来たお母の人とかお母

この人と 話して良かったと思えるような

人間になりたい と思いました。

ではわからなくて、どんな映画なんだろうと思っ
て見ました。見終わる感想は、主人公のカズヤの
心境の変わりく「あー、悪い方から良い方に
うっていったのが、いいなと思っ
てました。いろんな
事にまきこまれて、最悪な1日で「死ぬ死ぬ」と言っ
たのが、柳下さんが病気で倒れて、もう死ぬのをまっ
しかないと言われてたのを聞いて、必死に医者
を非難して、いたところから、いいなと思っ
てました。それで人間のやさしさ
はすごいなと思っ
てました。またくしらない子供を
あつかったり、車に乗せたりしているのが、す
ごくいいなと思っ
てました。月トルにでている「また、必ず会おう」という言葉
が何度もでてきて、あ、そういうことだったんだと
なってくてきました。

人に感謝することは、とても大切なことだ
と改めて思えたので、見てよかったと思っ
てました。

周りの人の助けがあってからこそ旅を続けることができたのだと
思いました。もし私が周りの人の立場だったら困っている和也を見つ
けても、自分の家に泊まらせてあげたり、車に乗せてあげたりしようと思
わないと思います。

私は、中でも柳下さんが一番印象に残っています。自分の余命が残り
わずかという危険な状態の中でも好むこと(トラップで旅を続けること)
をやり続けるという生き方が凄いなめと思ったからです。また、柳下さん
は勤めの職場/人柄より心が広いという印象があります。つまり、和也に
ボリツッコミをいれたり、為になる話をしていたからです。和也が銀行
から母に送ったもらったお金を取り出した時に、柳下さんが和也から
そのお金を取ったのでびっくりしたけど、魚市場で「一万円にお金を
をうつるな」と言って和也に返した時に「この人、良い人だなあ」と思
いました。

和也も、家に帰ることより柳下さんのお見舞いを取ったので、
清いと思いました。

「お、必ず会おうと誰かが言った」という映画をみて
友達にうそをついたのが原因で東京に行くこと
になって、そこでいろんな大人に出会っていろんな話を
聞いて、うそをついてしまったのは信頼がなくなった
りしてしまうので「悪いことだけど、旅で出会った人たち
からいろいろ学ばたので良かったとおもいます。
特にトラウマの運転手の人が一番良かったとおもいます。
最初は「おれんこ」と思っていたけど「おれんこ」のことか
これから、たまたま役者「こと」だと思ひました。
そしておじさんが「おれんこ」に帰るのが遅くなると
電話にいつもはしゃべらな「おれんこ」ゆるして来たので
「おれんこ」だとおもいました。
この映画をみて、うそをついたのは悪いことだけど、東京で
出会った知らない人達「こと」いろいろな話を聞いて良かったとおも
います。

ナレーションの人が先にどんどん内容を言われるので

何なんだろうと思っても、あーあ、このテンションが下がって

しまうけど、内容とか、役者の人の演技がおもしろくて

楽しかった。口舌くシーンが多くて、あんまり、モザイクも

かかってなくて、なんか牛乳を吐いているようで

気持ち悪くなった。なんで、あんなに口舌くシーンを

を多くしたのか、不思議だし、どんな内容なのか

頭に内容が入ってきにくかった。

一人旅してみたいなと思った。でも、自分で

人に頼んで車に乗せてもらうなんて、できないなって

思いました。この映画は、一人旅をして、だんだん

他の人に頭を下げて頼むという事を感じてほしい

というメッセージを込めているのかなと思った。

人の優しさにふれられる良い映画だったのか

かなあと思った。映画では、内容より演技が入って

きたので、原作では、きっともっと感動する内容

なんだろうと思った。

は、何の話したろうと思いました。かすやくんは、初め、
友達にうそをついて、じまんをしていました。それを本当に
みせかけるために、東京へ行って写真をとって、それを
友達にみせるだけだったけど、お金をぬすまわ、途方
にくわっていたのをその人が家につかていってくれて、その
世の人の話まで、静岡へ行って、子供に会いに行こう
でも本当は七くふでいて、散はつもし、おじさんに会い、
子供に会い、いろいろな出来事があったのを覚えていま
す。一番印象に残ったことはトラックのおじさんに会
て、やさしくしてもらったり、イラたと思ったらお金を返
したりしたけど、最終的には返してもらった。いろいろと
お世話になったそのおじさんが、たおれ、もうすぐ
死ぬと聞いたかすやくんは、よりそうことにきめ、うそが
ついてはいけなしい心から思ったというかわり方がすこ
ぶだと思いました。「また、必ず会おう」という言葉は、
まはらじやばく、また、必ず会おうと約束すること
心がちがうだと思いました。

「またかた」を鑑賞して、私も旅をしたいなーと思いました。

ただ一人で東京に行。て帰。てくるだけじゃなくて、

たくさんの人と会。ていろんな経験をすることはすごく思い出
になると思。えし、一生忘。れられないことだと思。います。

最初にまamiが家に入れてくれたとき、すご。いなって思。いま
した。私がもし、かすがくんが寝。ているのを見つけても、

たぶん何も言。わないし何もし。ないと思。います。

まamiみたいな行動力が欲しいです。

トランプのおじさん、かすがから1万円をとったとき

まじか。て思。いました。いい人。いざか。たのにひど。いなって
思。いました。でも、た。ばり良い人。でした。

あんなに楽しいが実際に居るとは思。えな。いけど、

あんな人が増。えたらいいな。て思。いました。

吐。くシーンが多くてきもちわる。か。たけど、良い映画。だ。た

と思。います。続きも気にな。るし、もうちょ。っと詳しく見。たいので

原作も読。みたいな。て思。います。

かたで、お話をし、お話をしたのについて、11月
せんでした。おぼらっているおはさんが出てきて、
かずやも自分の息子の所へいかせておくになっていた。
てことはかずやは知らなかったのですね。11
びくりにしたと思われ、何で行かせたのだろう
かと思いました。トラックのおじさんが出てきた
とき、かずやにすごく優しい態度で車に乗せ、
113人なことをしてやっていたのでかずやは人として仲良く
することができたのかなと思いました。
トラックのおじさんが倒れて、病院につれていってあげて
変わりに、リハビリといくら入る家まで一緒に行って
あげて、嘘をいってあげた。実は優しい人だ
なと思いました。かずやは、113人な場所の人と
知り合い、そして仲良くなり、最後にはおかあさん
ほらので、またいつか会える時があるのも
信じて、と言う意味ありもこめて、こんな
題名になった人だなと思いました。

おはさんは話が矛盾していて実際に同じ事を言
われたら正直切れて黙って行くと思います。

またその言腹立たしい事だけではありませんでした。
お人とおれらさもあり見ずかたです。また最後
には感動もありました。この映画を見て思った
事は かわきが悪む女子ともから大人にな。たと思
れた。うをういてお東京に行てしかもえつな態度
をとって生々な感じおしたても最後には人々を
助けた勇気のある行動をしたと思います。

そしてこのフィルムはやはり至死か会えらと言いか心に
残りれた。この映画を見て自分な持て変えていこ
~~思~~いた。

これから先もこの映画は人生を変えら思います。
また機会があれば原作も読みたい思います。

次に、1975年の小説を再読して、一番印象に残ったことは
沢山の人と出会う。それも初対面の人と旅をしたり、話を
したりなどととても面白い話だった。

友達にウリについてまで東京へ行ったと自慢して、うたが
おれたから、わざわざ東京に行って、始めはそんなこと
してまでウリをつくのなら、本当のこと言、て謝ればいい
のにと、思っていたけど、旅の中で色々な人と出会うと
「ウリ」ががずかにとって、これから生きていく上で
どうすればいいのがかが、良いかことを学べたと思います。
私はこの映画で、人との付き合い方やお金のありがた
み、困難におちいた時、どう対処すればいいのが
など学べました。

見て、本当によかったです。

機会があれば原作の方を見たいと思います。

まず初めに、ウソをついて、罪を返してやるんだって、
改めて思いました。でもこの映画では、主さんが、
自分のウソによってとても成長できたので、良かったと
思いました。

主さんは、とても沢山の良い友達にめぐりえています。
私は、何か大きな出来事があったとしても、こんなに沢山の
人と出会っているので、この出会いを大切にしよう
と改めて感じる事ができました。

主さんは、出会う人たちに、色々なことを言われる。
良い言葉ももらって、自分のダメなところに気がつきました。
成長していききました。

私も、沢山のひとと話している中で、自分の悪い所や
良い所に気が付いているのかは、少し疑問をもちました。
これから、もっと自分と向き合っていて、沢山のひとたちからの
メッセージを受け取り、理解して、人として、成長して
いきたいと思います。

世の中には、いろんな人がいて、人間は、

周りの人に支えられて生きていることを
あらためて知りました。

日本人はやさしいと思いました。

私たちが幸せに楽しく暮らせるのも、

おとうさん、おかあさんが一生懸命働いて
くれているからだ"と思います。

これからも自分一人で生きられないので周りの
人に感謝しながら生きたいです。

おじちゃんか病気になるのは悲しかったです。

あれからどうなったかも、気になります。

小さいおとこの子も、かわいそうでした。

かあ"やって人も、これからどんどん成長

して行ってほしいです。

うそつくのはた"めです。

正直に生きたいです。

伊左野岳がかっこよかったです。

トラップのおじさんがなかなかほらたつ人た
たけど、すごくいい人だ、たと思います。

トラップの中で、かすやが人分をみつめなおす
シーンがすごくよかったです。

トラップのおじさんの言う「自由」というのがいいな
と思いました。自分で責任とてやれりか
ら「自由」というのが心にひびきました。
自分もそういう自由がほしいと思います。

がらとが戻りかきたなれたのも、ちよと
マイルドにしてほしかった。

正直に生きる、ていいことだな、て
思いました。

になん、とりかえしのつかない事が起き、家族にも

嘘をつき、一人で東京に行く。最初は飛行機

に乗りおん、おばさんの家にとめてもらって、トリーの運転手

の人とあって、最終的には主人公の人が人助けをし

みたいなの感じの話でした。

小さい子がお母さんにお金を全部あげるシーンが感動しました。

その後も主人公の人が小さい子にお金をあげるシーンも感動しました。

お金の大切さ、人生の行先を学ぶ映画でした。

キラキラ光るセリフも、彼の口からこぼれていました。人生の中で嘘をつかずに生きている人と会う機会は多くないと思います。嶋田作さん演じる彼は、そんな人でした。天賦の人はみんな、小さな嘘、大きな嘘、様々な嘘を重ねて大人になっていく。中には嘘をつかす、思ったまま、見たまを口に出して人を傷つけ悲しませながら上手に生きている人もいます。どちらか、どつとほ言えませんが。。。もう一つ本当のことを言わないで生きる人生もありです。

末期がんだからと言わない。子供は死んでいるとは言わない。就労不能なほど心を病んでいるとは言わない。愛する人を安心させたいから、他人に心配されたくないから。本当のことを言わない。それは大きな嘘判おらずと深い暗い穴をかかえて生きること。みんな心に大小の穴をかかえ、嘘を重ねて生きている。

真実だけを人は生きられない。等身大の自分。川尻が先立ちに胸を張って大きく見せられる。シャッター音を聞く一瞬なら。自分としっかり向きあつて人に優しく生きたいと思います。全徒の心にもひびいたと思います。お父さん、大切なことで良いことでした!! スルイ!!

吐きシーンが"物おき"て、見づらかったです。

先に副音声で内容を話しちゃうので、楽しみがな〜。

真画としては、あまり良くなかったと思います。

~~バンバ~~、親がお金を渡しているところから、仕事

して、お金をもらっているシーンが一番心に残ったと思う。

ここからのお金使いを考えさせられました。

トロッコの後につかまって高速道路を行ったりしているのを

見て、噂いぢと思いました。やぎしたさんのおいっ子が

お茶いぢな〜、トロッコに入るシーンは、おもしろい子

やん！って思ったけど、病弱な母親に自分の所持金を全部

渡すのが、すごいギョッがあって良かったです。

全員初対面なのに、「さよなら」をする時は、

親になって、また必ず会いたくなるんか、って

思いました。

私も一人が欲しいなと思いました。

たくさんけいけんして、こい人生にしたい
と思いました。ケロをロキくシーンがAAくて
少しにか手だった。たくさんの人にあって、たく
せんの人にたあけてもらったかあやくんは、
とても幸せた"なと思った。

お父さんとお母さんが"いっしょうけんめ
い働いてくれているから私が"いて、
私が"何ぶじゅうなく生きていけるんだ"と
わかった。

今回、この映画を見る事が出来て、

本当にうれしく思います。

この映画の題にもなっている『また、
必ず会おう』という言葉が一番心に
残っています。とくに、トラックのおじさん
が最後に言ったその言葉が一番いんしょう
ぶかいです。

東京に行った少年がたくさん
の事件がかさなりあって、たくさん
の人々と出逢う事が出来るという
キセキはめ、たにないし、たくさん
のやさしさを感じれる。その
ような映画でした。

本当にありがとうございました。

私は映画を見た一番に「人となりがいい」

と強く感じました。

最初はウジウジしていたり、嘘をついたり、友達に合わせ
していたりと、人間として“0点”だった私には

人と比較する中で大きく成長していることに気づき
おどろきました。

自分は、人と比較する中で成長したという部分で「自身
成長している大層に誇りた」と思いました。

しかも人となりがいいという点ではたまたま出会いや別れがあり
ます。そんな中で一人一人の言葉を大事にしたいからと
たいてい思ったり、「一会一期」の人生は受けたいと
感じました。

一度しかない人生を和気しかりと生きていきたい

しかも人となりがいいに感謝して自分が別れる立場になった

時は、「では、必ず会おう」と言える関係にしたい
と、そういう自分を作りたいと心がけました。

また、遅れた映画でも色んなことがわかると思うので今の
時間を大切にしたいと思っています。

映画を見る前は、どなたの話がたんおもしろいかなんて、と
考えていました。でも実際見るとおもしろい場面もあり
悲しくなる場面もありました。

主人公の和也は見栄張りで東京行、にりするけど

静岡や愛知ほどいろいろなところに行くと、その人に出逢い
ました。その時に必ず言うセリフは「また、必ず会おう」です。

旅をしている時に現地の人と仲良くなる、にりする場面も

あったけれど私は個人的に柳下さんと出逢、に所が
素敵でおもしろかったです。見たことない人をトロッリに乗せて
ご飯をおごってたり暖かい人だよねーと思いました。

この人も良い言葉を言っていました。「自分の主人は自分」や
「自由」と言う言葉をよく使っていました。

和也と柳下さんが親子だ、にりしてホッコリしました。

とりあえずこの映画はあつてもいい、と見ています。

この映画の原作は泉農の図書室にも本があるらしいので
また期会がある、にり言えに行きたいなと思いました。

この映画を見て思、にりとは一期一会は大切、にり
と思っています。

私も一期一会を大切にしようと思っています。

たれかが、 $T=$ 可 $T=$ くれ。主人公は、何とか、生きてるか"で、 $T=$

あたりまえ、 $T=$ と、何でも、思いうんじやなくて、 $T=$ い $T=$ と $T=$ ん $T=$ で $T=$ と
と $T=$ 思 $T=$ い $T=$ ま $T=$ し $T=$ と

一人で生きてい $T=$ た $T=$ い $T=$ し、周りに、いてくれる人、には、もっと感謝
して生きていかないと、 $T=$ と $T=$ 思 $T=$ い $T=$ ま $T=$ し $T=$ と

人との出会いも、大切に、しないとい $T=$ た $T=$ い $T=$ と

思 $T=$ わ $T=$ さ $T=$ れ $T=$ ま $T=$ し $T=$ と

日映画の中で、いろんな人が、"必ず会おう"と、主人公に言っている。

私も、これから、出会う人たちに、言ってもらえるように、人間にな $T=$ り $T=$ たい
と $T=$ 思 $T=$ い $T=$ ま $T=$ し $T=$ と

この映画を見て、「うそ」はいいねと改めて、思い直す
ことが出来ました。

どうしてもうそをつかぬといけぬ場面はあえて
思うけど、日頃からうそばかりついていると、本当に
信じてほしい時に信じてもらえなかつたり、うそだとバレた時に
「どうせうそなんやろ」と思われてしまったらして、

友達の信用、信頼を失ってしまい、大事な友達を
失ってしまうことにならぬので、うそをついても悪いことしか
返ってこないかたまりと深く考えさせられました。

また、この映画を通して、人の優しさ、暖かさを
感じることもできました。しかしその一方で、人のダメな所も
いろいろ見えてきて、自分もこんな風にならぬかなと人の立場に
なれ考えさせられました。

今日の映画を見て一番思ったことは、気を使わぬといけぬのは
本当の友達だといけぬことです。そんな友達といても心から
楽しいと思える日は二つはないかと思えました。

いろいろ考え直すことが出来たので、

この映画を見て良かったと思います。

最初は、主人公が「おれは、おれでいい」と周りに話しかける

合戦でいて「おれは」変わるのだからと思えてきた。

直達から外へおれは嫌われた。おれは自分を守りたい。

おれはいつかにはその時に来たおれは自分を守りたい。

おれは自分を守りたい。おれは自分を守りたい。おれは自分を守りたい。

東京から始まった。おれは途中で出会った人が一人だけ。

おれは「おれは」おれは主人公の考えが変わった。おれは

おれは自分を守りたい。おれは

一番印象に残っているのは、おれは主人公との出会い。おれは

おれは自分を守りたい。

おれは自分を守りたい。おれは自分を守りたい。おれは

おれは自分を守りたい。おれは自分を守りたい。おれは

おれは自分を守りたい。おれは

おれは自分を守りたい。おれは自分を守りたい。おれは

おれは自分を守りたい。おれは自分を守りたい。おれは

おれは自分を守りたい。おれは自分を守りたい。おれは

おれは自分を守りたい。おれは

おれは自分を守りたい。おれは自分を守りたい。おれは

が色々な人に出会う中で観方が変わっていく、すごくステキな映画だな
と思いました。主人公が色々な人に出会っていた中で私は柳下さんが
一番好きです。「自分の主人は自分、~~神~~は自由」この言葉をきいて、かほ
と、おどろいた言葉だなと思いました。旅で出会っていた人はみんなおど
ろくて、すごくいい人だなと思いました。急に出会った主人公を受け入れて
くれて、最後にはみんな必ず「また会おう」といっていて、「また会おう
という言葉はすごくステキな言葉だなと思いました。

この映画の原作本があるときいたので、また時間があれば読んで
みたいですね。

和也が東京に行ったときはおが帰らなくなるとは思いませんで

した。

飛行機に乗り遅れたことにより帰るのが"ものすごく
遅くなった"ことでもかわりそうでした。でも和也はそのこと
によってたくさんの良い経験ができたと思います。

でも友達に見学を張ることもつはまらか。というと思
います。

和也はこの旅でたくさんの人に迷惑をかけた。でもその
ほ以上の恩返しを毎回していたと思います。

和也にしろ、人としての礼儀、宿族の大切さ、命の
大切さ、偉人の大切さなど、たくさんのことを学ぶことが
できた成長の場となったと思います。

最後のしめがけはかわらなかつたし、400はくシーンが99まで
活なかつたけど普通に良い話だったと思います。

でも和は和也のように、何日も同じ服を着るような不潔な
旅はしたくないです(笑)

この映画を鑑賞して、一番印象に残っているのは主人公が初めに
由緒を知られた女の人に言われた「仕事と愛の二者もする」という言葉です。同
じようなことを担任の先生もよく言っているのと思ったし、初めに訪れた場
所の責務的に動くことで大切なことなんだ、と思いました。

主人公が自分と同じ年という人もあって、すごく共感できる所もあつた
し、ほんの数日間の旅の中でどんどん主人公が成長していくの場面が
たす。

でも、映画の終わりがたいてい自分からなくて、あの後主人公は家に帰
れたのかとか、友達とのいざこざはどうかだったのかとか、ヒョウノクで乗
せられたトラの運転手には何もなかったのかとか結構気があるんですけど
ないかと思うほど続きの気になると結構気になります。その
時間のある時にでも原作を読んでみたいと思います。

デコトラのおじさんが主人公にうばってた1万円を返して、

~~簡単に使うなよ~~と言ったところでお私もよく何もしていないで

親からおこづかいをもらってときや、病院の診察料のおつりなど

自分が怒かしないで手に入れたお金はだいたいすぐ使ってしまうし、

お金のありがたみがわからないのどしょうもないものに使っちゃっているのど、

デコトラのおじさんのことはが印象に残りました。

また、登場人物の全員、長所もかっこいいところがあるだけじゃなく

それぞの短所もあって、リアルなな、思いました。

デコトラのおじさんのお姉さんはてきぱき指示するし、おれを大事にするところとか

すごくしっかりしている人だなと思ったんですが、男の子のお母さんのことを

ぐちぐち言うところとかすごくわかって、男の子のたいいど

それはちがうだろうって思ったのどすごくあきらみませんでした。

でも主人公が最後には親に今までのを全部言って、

ちよと成長するところは大好きです。

続きが読みたいな、思いました。

この映画を見て自分が思ったことは、自由に行動しないと結果は
期待しないということ。あと、この映画から自分が受けたものに
-は、「自分のことは自分が決める」ということです。映画の中でも
「自分の主人は自分」「自由」とかの言葉が出てきて、なるほどと
思いました。

今回、映画を見て思ふことは、国の人から必ず誰かが
救いの手を差し伸べてくれるということだ。

「一人で何とかしようとばかりは、心も体もたかたかでは
上手いかねい。時には誰かが助けてくれるんだ。」と思ひました。

思ふことがいろいろあります。

私は長味屋新家に避難のつもりでいます。

映画を鑑賞して、主人公の心情の変化がはっきりと出ていると思いました。最初は、人についていくことしか、できなかつた主人公が最後は、人にいろいろな恩を返していきながら印象に残りました。途中で終わっていることがあえて、物語の続きを想像させてくれて良かったと思いました。ぜひ、続きも制作してほしいと思います。

私にはこの映画の内容が難しかったです。また、主人公の男の人は出会った沢山の人達のかかえている事を自分の目で見ることによって、最終的にデコトラの男性が母の所に連れていくはずだった少年が「もう母の所には来ない!」と言った時、きっちり少年を導けるまでになったのかなと思いました。

あと、都会への憧れや少しみえをはってしまう人はどこにでもいるので主人公の気持ちは分かりやすかったです。お父さんが主人公の好きな道を選ばせたのは印象的でした。

うそを、ついでには「かりの和色の気持ちも、自分にも
あてはまること」があり、旅の中で出会っていった人たち
の言葉が心に響きました。

人に合わせることはしんどいし、人は一人一人自由なのに
なぜ人に合わせてしまうんだ？と私は思いました。

最初、口元と言われた和色も、たくさんの人たちと出
会い、たくさんのお話を学んでいく事に感動しました。

男の子は、「さようなら」と言わずに「また会おう。」と言えと言った
日曜、たくさんの人たちから学んだことがあり、男の子にとって
良いことだと思いました。「さようなら」というと、もう会えない気
がするけれど、「また会おう。」という则会える気がするし、これから
人生も、楽しめようだと思いました。

自由に生きることには、以外と難しい、と私は思ったけれど、

自由に楽しく生きたいと思うことが出来ました。

人と人とのつながりがある。自分というものが
成り立っていると思いました。東京からお金をなくしてどうせ
ら家に帰るかというなかで、色々な人との出会いが主人公
のカタヤにとって、かけがいのない思い出になったと
思いました。得たテオラとの出会いが、一番の
カタヤにとっていい思い出になったと思います。話を聞いて
親と友達とかに迷惑とかかけていたけど、正直
に親に言ったと知るかは元気がいいなと思いました。
いい映画だったなと思います。また見たいです。

最後がよくわかりませんでした。女性の家に泊
めてもらう時に片づけをしなけばならない
ということは初めて知りました。ドキュメンタリー系の
ものは大嫌いだけど、目上の人への接し方を知れ
たことがよかったです。

「おがまいなく」という言葉が残っています。

私はあの映画を見て、出会いが大切だ"なあと思いました。

最初に出会った女の人が、もし家に泊めてくれなかったら、

他の人たちにも出会えてなかったかもしれないし、ずっと空
港航にいないといっていたかもしれないと思ったり、可"いな
なあと思う。最初の女の人が大切なことをおしえてくれて
それが主人公はどんどんできるようになっていておもしろか
た。私だったら目の前に泊まるどころかたいて困っている
人がいて、助けをあげるどころかできないと思う。

トラックの運転手さんも、自分は病気をかかえていると
いうのに、自分のしたいことをしつづけているなんてす"いな
なあと思ったり。そんな、自由な人生をおくれたらいいなあと。

最後のときに、出会った人みんなが言っていた、
「また、必ず会おう」という言葉を主人公が少年に言、て
いたところがおもしろいなあと思、た。

一言でいうと、とてもいい映画でした。材があまり
た、たけど、本を読んでみると、とま、ているのがなと
思、たので、また読んでみたいで可。

そして私が一番印象に残、ているのはトラックの運転手
です。末期のガンでもう体が赤のほ、なの、に最後に
自分のやりたいことをや、て死、のう、という考え方が、いいな
と思、いました。病院の先生は、そういうのは、逆死、だ、と
い、っていたが、私、は、そう、は、思、いません。死、んで、も、や、り、た、い
こと、という、のは、また、私、に、は、な、い、ので、あ、んな、生、き、方、で、も
尊、敬、さ、ま、した。た、か、ら、三、の、人、が、最後、に、い、う、ま、た、あ、あ、う、な
が、一、番、じ、ー、ん、と、ま、ま、し、た。

主人公の男の子も旅が、進、ん、で、い、く、こ、と、に、少、し、ず、う、成、長
し、て、い、る、の、が、よ、く、わ、か、り、ま、し、た。初、め、は、し、ら、う、も、た、い、う、そ、も
つ、い、て、そ、の、た、め、に、て、ち、に、旅、を、た、け、ど、た、く、て、の、経、験、を
し、て、た、く、て、の、人、と、出、会、っ、て、と、て、も、濃、い、旅、に、な、っ、て、... 私、も
一人旅、で、も、し、て、み、お、う、か、と、思、い、ま、し、た。

変な人も多かったです。その人たちみんなしっかり自分を持っていて、すごく良い人ばかりだと思った。しかし、でも、登場した人は何かしら、小悩みなど"をりかえていて、それも、少しずつでも主人公のおかげで解決したりして、初めはなににもできなかつた人が"旅をしていくうちに、変わって人を助けれるようになって嬉しいと思った。

最後に家に帰れたのかなど、少しわからない所があったのでそこが知りたいと思う。

結局、嘘は自分を苦しめるだけなので、意地などでは、嘘なんか絶対すつかならうが良いなと思った。

あのトラックの運転手の親族とかは全然良い人じゃなかった。

いふと、何ともしやないが、新しいことを始める準備は
しておかないと、思いました。

長年かけて、その間の時間と一緒にいただけなのに、

その中で、いふと、何ともしやないが、新しいことを始める準備は
思いました。

私も、必ずしも、言えなかった人に変化、それはいいです。

いふと、何ともしやないが、新しいことを始める準備は

またかなを鑑賞して、主人公の人は、手どうそついで
いて、東京に行ったのを証明したくて東京に来たけど
そいで”のめぐりあいが本当にすばか”にほと思いました。
私が一番バに残っているのは、トラフの人の”
あの人に、途中え”と思うところもあ、た”けど、本当は
とても良い人で感動しました。

この映画で私がえたことは、人を大切にやる気持ち。
た”この人との巡りあ”で人は愛されるのかもしれない。
ということだ。

几个と派っし、嘘とバ、とはいいないなと思いました。

でもこの映画ではそのことにより、たくさんの人に

めぐり会えました。一番印象に残っているのは、デコトラの運

転手のおじさんです。すごく面白く、そして感動もあり、

素晴らしい映画でした。

私が受け取ったメッセージ「人間は素晴らしい」

昨日見た映画で、思ってたとは東京に行った男子高校生が東京から家に帰れなくなりました。人とあって変わったところにはいたんですけど、人と会ってどんどん変わっていきとるのがいいと思ってきました。また、何か変わったところがあって、トラックの前ちゃんと会ったときと50分が変わったと思えました。

それで、トラックの前ちゃんが又母をかけたというところが何か悪い場面になってしまったときに、「自分のせい」なのか「他人のせい」なのか、どちらが良い？という話をして最終的には「自分のせい」といって、やはり雑誌だけとそういう教員方もあるんだと思えました。

私口は映画を観て、おやまの話を聞いては、おやまの話を
して、人の心には、おやまの話を

おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、
おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、
おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、

人の心には、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、
おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、
おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、

おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、
おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、
おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、

おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、
おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、
おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、おやまの話を、

難しいと思います。何回も見ても登場人物1人1人に
焦点をあおして見るとその登場人物の考えという
ことなんかもわかるんじゃないかなと思いました。
で、くる人は個性の強い人ばかりで現実には
たぶん正直めんどくさい間取りにくい人たちだと思っ
た。でもそんな人たちからこそまた会おうと
言える。また会いたいと思えるんじゃないかと思っ
ました。主人公が周りと合わせるために嘘をつく。
この行為はほとんどの高校生や中学生などに
おこすと思います。自分もそうです。主人公の立
場や考えについて、目線が同じだからこまで
入り込めたと思います。もう一度見る時はまた違う
感じ方になると思つたので期会があればまた見たいです。

概

映画を見て思ったのは道下主人に良いように見られたく
見栄を張、アレも主人公を見て、私も少し共感した
所がありました。人に良く見られたくてついた嘘が
自分をくらしめて苦しんでいる部分を見て、私もさう
ならないようにしたいと思います。

デコトラのおじさんは、あらあらしい言葉や態度で
した。主人公のことを考え、仕事を見つけて
くれたりとすごく良い人だ、たと思いました。
最終的には、とても強くなった主人公を見て、私も人生
をかえてくれる人になりたいと思いました。

嘘というのは、ついて良い嘘と悪い嘘があるんだなと思いました。
でも、嘘はやはり全体的に言ったら、全部が良い方向には進むわけ
ではないんだということが分かりました。

そして、今はお父さん、お母さんや家族がいて生活できています。でも、
将来は一人で自立していかないとはいけないうちもあるかもしれない
から、これからは自分一人で生きていけるようになっていけたらいいなと思っ
ました。

この物語の登場人物はみんなあんなにかい
と見えた。知らない高校生を家に泊めたり、自
分の車に乗せたり、私ならできなかっただろう。

登場人物の一人一人にストーリーがある。
このあとこの人はどうなるんだろうと先の
物語を見たいな。

主人公の和世が成長していく姿がだんだんわ
かってくる感じがした。

良学を張り、嘘を吐いた。

それを実現させたのは、東京人

東京で出会ったおぼろに、"0点"だった。

人の役に立つことを学ぶ。

それゆえ静岡で出会った やさしく。

主人公にどのような変化が起きましたか。

やさしくの言葉は、私に大きな影響を与えました。

嘘をつかずに正直になることが大切

人を助ける

はじまり、と書いてあります。

映画は、おぼろとつながる。

やさしくの言葉

私の剛はかえりく野村浩司であつた若子生誕記した。

私も女子の中では背が高い方でありと自負しているのですが、やはり黒田ともなると体格の差が目立ち、つまり向がらいたいかというところが見えませんでした。

ですが、あの若干フェルミニアアウツスのかかげで見えかとも内容が頭によつてきて、「まあ、今はこんなシーツなのかな」と思い描く事が出来ました。

また、とくに私がかけておく校内に何人かいたと思いつく。

陣 偏重者に対する気づかいには、たとえ障害者がいなくても役立つ番でありと学びました。
物

又、あのあびさしの家に主人公が泊る所でありかあそこであびさしのふた「人の任事を取り替へてあげ」という(内容の)台詞が印象に残りました。確かにその通りだと思つたので、今度はうかがいでいきたいと思います。

公に びくりにした。でもなにも考えずに旅
に出るのもおもしろうななと思っ下。

トラックの運転手の方がおもしろかた。主人公が旅
をしていく内に変わっていくのがすこいと思いま
した。でも終割りが何件おこなわれたです。
厚た、必ず会おうっていい言葉だと思っ下。

和也は色々な人たちと出会ってきたけど、その人たち全員が
「また、必ず会おう」と言っていて、和也はいい人たちにめぐられたな
と思いました。

私が個人的に好きだったのは、デコトラの運転手さんとのからみです。

和也がトラックの後ろにつかまっていた戸もおもしろかったし、和也と運転手さん
がしゃべっているシーンもどれもおもしろかったです。

最終的に和也が帰れたのか気になるけど、おもしろい映画でした。

原作も読んでみたいと思いました。

私にも、和也たちみたいな出会いがあったら、人生楽しそうだなと
思いました。

物語の中で、和世の愛、母の心に 様々な人の思いや意志
が詰まって、新たな和世の心ができていくようにした。

自分のためではなく、何より他人のために、そしてこの事に関
して、おれいほ求めず、「して当然」ということが僕の中で
一番心に残りました。

他人に尽くし、しかし自分には見返りを求めず、これ性。
今の社会に必要な事だと思いました。

この映画を見て、とても大切な事を学びました。

「うそをつくから、そのうその中で生きていく覚悟をもって言え」
上記の言葉が、かっこいいと思いました。

主人公が家に帰ってからのこととか、学校に戻ってどうなったのかとか
描かれていなくてどうなったんだろう、とか、自分や友だちどうするの
とかいっぱい考えた。 何となく「喜仲のあの友達にも
弱いところを見せたくなって嘘をついたこと」 たまにあるけど、
それのことはおねえと聞いた。

会いたいのとあつのに会えない人がいて、もし会えたら...とか
考えるけど、無理からず人との出会いを大切にしたいと改めて
思ったし、命と運分があたり...とまた考えるようになった。

何もおこらばいいということも下す。

何か自分で行動することで普通に生活をしていける

★ 絶対に会えなかった人と何かしら物語りが

生まれます。 物語りが生まれることで一生の思い出になるかもしれません。

仮の下、私はこれからは人に指示されてから行動

せず、自分からいろいろと行動してゆきたいと思いました。

僕は、また、必ずおると誰かが言ったを見て、人それぞれの
の生き方があるし、その生き方に対してのその人が
つらみ、溜したい信念とかそういうものがあること
う事を知りました。

特にトラックの運転手の人が登場してからの
部分は、心に響く物がありました。

たとえば、人のせいにするより、自分のせいにする方が

知分のいいという謙に対して、今まで自分が生きてきた
中で、今更にくやみだけしている事思い出すと、たいてい
人のせいにしている事が分かった。だから今後は自分が
くいの程のない選択をしようと思った。

今日この映画を観て本当に良かったと思う。

10月20日 土曜 18:00-19:00 東京 10月20日 土曜 18:00-19:00

11月10日 月曜 18:00-19:00 東京 11月10日 月曜 18:00-19:00

起立 18:00 開始

11月10日 月曜 18:00-19:00

11月10日 月曜 18:00-19:00 東京 11月10日 月曜 18:00-19:00

11月10日 月曜

11月10日 月曜 18:00-19:00 東京 11月10日 月曜 18:00-19:00

11月10日 月曜 18:00-19:00 東京 11月10日 月曜 18:00-19:00

11月10日 月曜 18:00-19:00 東京 11月10日 月曜 18:00-19:00

はじめは空。伊達。た少年が、帰るころには、
立派になっていて、その旅の中身に感動しました。

私が一番印象に残っているのは、少年とトラックの
おじさんとのトラックの中での会話です。理由は、

★ 「どくせ同じ結果になるのなら、人のせいにするより、
自分のせいにした方が気持ちがいいだろう。」みたい
なことを言っていて、それが本当だなることとも
納得できたからです。

また、人に感謝されるのを求めて、行動するのは、
いけないということも学びました。

この映画は、考え方を教えてくれるような、変えて
くれるような素晴らしい映画だと思います。

この映画の中の言葉を忘れずに生きていきたいです。

出会いはいいなと思いました。1人1人の出会いが
主人公の今までの考えを変えて成長させていったん
だなと思いました。デコトラのおじさんがすごく印象的
でした。最初は冗談をまぜながら相談も丁寧に
答えていていい人という印象で途中で1万円宿泊代
でといたのは今までいい人だたのに変わりすぎてびっくり
しました。けどこんな所まで優しさがあったなんて思わ
なかつたです。とても人生の先輩だなと思いました。
トラックの中で話している時は軽く話している雰囲気
だたけど内容はすごく深くてだから主人公も成長
していったんだなと思いました。

最初ウソから始まってこれだけ人生が変わって人生で
何が起るかわからないなと思いました。
出会いがたくさんあつたから、人との関わりが大切なこと、
自分らしさを大切にしないといけないことを学びました。

「...、映画・エに、必ず会おう」として、17日はやはりよく分からなかった所もあったけど、男の人(かす"や)が、たくさんの人に
出会う、助けてもらったりして、かす"やのひと助けた人たちは
おわかれする時に「また、必ず会おう」と言っていたなと思いました
あと、映画を見ていて、下のほうに字まくがあって、障害の人でも
見えるようにしているのがなー?と思いました。

ドラックの人が車の横にのせてあげていたのはビックリしました。
写真とかもいっぱいあったんだなーと思いました。

この世で生きていくには、人との付き合いはとほとほでも大切なんだなと思った。

自分も映画みたいな旅をしてみたいなと思った。

一番印象に残っている場面は、トランプの人が言っていたセリフで「俺の主人は俺だから」みたいなセリフです。たしかに！って思いました。人生は自由なのに人のせいにして生きて振舞っているなと思いました。もう自分の考えを行動にうつして人生を楽しみたいなと思いました。

私はこの映画を見て、うそをつくとはおろいにと
改めたわけがわかった。うそをつくとは、友達の信用、信頼
をなくすことになり。たぶんかたきもうそをつくとは
おろいとおもいました。為一郎でもたかきとおもいました。
そして、他に人の「温かさ」をこの映画で感じました。
「また必ず会おう」という意味は深い言葉だなとおもいました
この映画はいろいろなことを考えることができました。
とても勉強になる映画でした。
見て頂いてありがとうございます。

まず最初に思ったことは、嘘をついても良いことは無い
なと思いました。

友達は大切だけど、友達に良いように思われたいか
らといって、嘘をついても大層だいじょうになてしまうし、その時
は楽しいと思えるかもしれないけど、詳しく話を聞
かれた時や、そこで撮った写真を見たいと言われた時
に困るし、友達からも嘘だといつかばれてしま、て
信用されなくなってしまうからです。

良いように思われようと嘘をついたのに信用も友達
も同時に失ってしまいます。

だから私は、妻を出せる友達と出会って嘘なんか
つかなくても楽しく過ごしたいと思いました。

主人公の少年が飛行機に乗り遅れてお金がなくなる場所から

始まり、居候したりしてさまざまな人と出会っていきます。

出会う人がみんなそれぞれ個性があってすごく優しくて良い人

だなあと思いました。その人達のおかげで少年が成長して

いくと同時に自分も考えさせられる話でした。

少年は、この体験を忘れることはないだろうと思いました。

旅に出たことでたくさんの人に助けをもらい、人々の温かさ・

メッセージが伝わってきました。

大切なことを改めて感じる事ができた映画でした。

人とのフはハリの人切いで、隙の深いなど、色々なことが学べた。最後の終わりが中途ほんほつたけど、とてもいい映画だった。一番印象に残ったのはやっほりトラックのおじさんでした。厳しい所もありながら、やっほり優しい所もありあんな人に私も会ってみたいと思いました。

内容が本とまったくちがったらしい。

主人公の高校生の変化があり、とてもたのしかった。

初めはもんくやくちなどが多い人だったけど、最後には自分からたくさんのことをやれるいい人になっていた。

たくさんの成長があったいい旅かできていたと思う。

云ふは決ちし「いのち」を「命」と言ふは、
最後を「命」が「男の子」に「命」を「命」に
「命」を「命」に「命」に「命」に

1月11日、四時頃、血を吐いて、印字に残ったことは、菊川が母さんに会いに行く所です。思ったことは、人と人のつながり、大切だなということ、人のためにしたことは自分に返ってくるものなんだと思いました。

足りないような気がし、と人々成長していく姿に
感動しました。また原作の方を言えんてみたいとい
キモチもできました。

印象に残った点は行先々で出会った人の厳しさとおた
たかさです。すべての人が厳しい言葉をかけたり、あつし
はなにかなさせたりしましたが、すべての人が、最後には
暖かくて、深い言葉をかけてくれました。

もう一つ、印象に残った“言葉”があります。それは、
病院で医師が八木下さんに言った「自由に生きた人は不自由
な死に方をすると」いう言葉です。僕は就身歳で最終
的には休みの日は、いろんな所に旅をもて、好きな
ことをいさなだけやって住ごそうと思、ていましたが、考
えると、旅をすると、得られるものも大きいですが、同時に
家族とすごす時間、旅費など、失っていくものも大き
きがします。好きなことを好きにやる片寄、た生き方は、
片寄、た体をつくり、その体は、病魔に犯されやれい本と
なりす。少し旅をするのはいいことですが、やりすぎもよ
くないんだな一と思、いました。

を失う。

- 最初は、ウソをついで、「いぬ」をあげるという映画かなと思っていましたが、最後は東京に行ってたくさんのおいしい人たすに出会い感動のできる終わりでとてもよかったです。
- 言葉のルール（たいてい必ず会おう）がよかったです。

自分が最初に思ったことは、やはりウソはいつかはばれる
ということですね。自分もよくウソを言っていたので「気を付けよう
と思いました。

心に残ったシーンは、テコトラの運転手さんがたかれて
かたどわがた時の主エの「人は死にかけたらたぶんじやないん
ですわ」というところから心に残りました。

人は死にかけたら、今まで「できている」をやりたこと
したくないこと思い出す。それを人のせいにするなどという
理由で「あはれ」してしまうのは「めだ」と思っています。

この映画を見て、

どんな出来事もとらえ方によって、良い風にも悪い風

にも感じる事ができるのだと思った。

主人公の心の変化があった、最初なら家に

電話をしてもっと居りたい、と言わなかったと思う。

自由とはどういふものを教えられたり
主人公のの行重カの高さにびっくりしたが
映画の最後がとほ中とはんはな糸冬おり
方をしたためどうなったか気になる終
り方だ。

自分には正直、あの映画は何を伝えたかたはよく分かりませんでしたが、とても感動するいい映画でした。

あの映画の意味を知るために、また何度も見なおしたいです。(DVDなどがかえるようになったら、かいたいです。)

あと、次ぎがきになります。

ことができました。思い出に残ったセリフはやっぱり
また、必ず会おうという言葉です。さよならとはいわず
にまた必ず会おうというのが良かったです。

初め、自分のうそから始まり、そこからストーリーが
はじまっていました。僕自身、この映画を見て、年頃の
高校生を映し出すのにとてもよかったなあ。

感情の変化がとてもおもしろく、最初は自分の事しか
考えてなく、まわりのことなんて、まったく考えていなかった。

その事にかんして、ずいぶん気持ちが良くなる様な

映画でした。

トランプの運転手がずいぶん良い人でした。

見学の嘘から始まった旅は、嘘の旅よりも人生の糧にな
ったはず。99人の人との出会い、経験として大切
なものだと感じました。『一期一会』が「また必ず会おう」
とつたばかり締めをわかった気がしました。

人は、それを水たまりに考え、行動してまわると
からこそ人とのふれあいを大切にしてあげたいと思っ
ていた。

人と人がつながって、広がっていくということがこの映画で伝わりました。一度しかない人生を、どう生きて行くかというものは難しい判断だと思います。でも一度しかないことなので自分も何かに挑戦したいと思っていました。

その後、郷下さんはどうなったのか気になります。それをもって、家に帰れたのか。と言うものが気になります。

一番グッときたのは郷下さんが末期がんだったことです。郷下さんの思いと行動が涙をそそるのである。一番びっくりしたのは、缶ボールが「バランタ」にいきなり広がって缶何円するかなと思っていました。

今自分のすべきことを見つめ直さうと思ふ。

空っぽの人間にならぬ。中身のある人にならう。

主人公がいろんな人に出会っていくお話でした。

小さいうとから始めてすごく感動しました。

私も、主人公のように ET ET 未熟 ET ET と
改めて思いました。

これから又周りの人に感謝して 周りの人からも

感謝される人になりたいです。

「ET、必ず会おう」と言える人に出会いたいです。

「おれは、この世を思っただけが、いくつもあり得る。」

1つ目は、人との出会い。これは大切だと思っただけ。だから私もこれから生きていく上で人との出会いを大切にしたい。皆さんの人と仲良くしたいと思っただけ。

2つ目は、ゆりをつくることは改めただけだと思っただけ。ゆりをつくるには、今回のようにはいはいでいい。思っただけ。だから私もゆりをつくるに生きていきたくて。

「FIFA」の「5つ星選手」なFIFA、僕やな〜と「思いな」か
見ていました。

最初は失敗から始まった旅であり、いろいろ人に出会い
成長し、最後は自分がアドバイスする方になり、僕も
そんな旅は出来ないか？と本気でか。人にカノガエ
出来る人間になりたいと思は

こんな事を、思えるのも、映画を見せせてくれただけか？
なので感謝もあすれないようにしたいです。

10月21日、149名の「J」を70名、11名の「J」を10名に減らした。

うそだったのが、あんな大きい旅になるなんて

びっくりしました。私だったら東京から家まで

自分で帰るなんて、できないと思いました。

あの旅は和世にとって忘れられない良い思い出に

なるんだ、よかったと思います。